

事例8



妊娠に関する理解

制度を利用しやすい職場づくり

女性労働者の意向を踏まえた業務の変更

取組のPOINT

- 国土交通省の基準で女性用設備を整備し、女性労働者が働きやすい現場づくりに取組んでいる
- 「社員連絡会」を組織。労働者の要望を受け入れ、育児と仕事を両立しやすくするための社内制度の見直しが行われ、就業規則を改定
- ICT技術の導入などで女性活躍に期待。積極的に女性を採用している

◆ 人事・労務管理担当者

女性従業員のいる建設現場等での設備面の整備状況

「快適トイレ」を導入 現場で働く女性労働者が働きやすい配慮

空港や高速道路など大規模工事を多く手がけており、そのような現場には国土交通省の仕様書に従い、「快適トイレ」(女性も活用しやすいトイレ)を設置。現場で働く女性労働者が過ごしやすいよう配慮している。ある現場では、水洗トイレに近い仕組みで臭いがせず、着替えスペースや荷物置きが付いているタイプの仮設トイレが導入された。

「体調が悪ければ休むのは当然」として、妊娠中の休憩回数や時間について、特に規定は設けず、女性労働者が更衣室や休憩室でソファや椅子にかけて、適宜休むことができるよう、それぞれの職場で柔軟に対応している。

また、本人から申出があった場合、妊娠中、育児中は技術センター等の内勤業務に異動して対応することが可能であり、女性労働者の身体的・精神的負担を軽減することができる。

母性健康管理の社内制度の状況

労働者の要望を受け入れ、子育て世代が働きやすい制度づくり

労働者と経営陣の間で建設的な意見交換をする場として、「社員連絡会(40歳未満の社員)」を組織し、2016年度の連絡会では子育て世代が働きやすいよう意見をとりまとめ、要望書を提出した。

これを受けて就業規則が改定され、「育児による短時間勤務の対象となる子どもの年齢」や「育児休業期間を延長できる期間」が引き上げられ、家族手当での支給要件も見直しされた。

社員の声に耳を傾け、規定を充実させていくと同時に、実際に制度を利用しやすいよう、日頃から風通しのよい職場環境づくりに気を配っている。

女性活躍推進の職場環境の整備について

ICT技術導入で土木現場における女性活躍に期待

男性が多い土木の世界だが、事務業務、研究・開発、近年は現場監督としても女性が活躍しており、積極的に女性の採用も進めている。

今後はICT技術を使って道路舗装や重機の操縦をオートメーション化することで、体力や経験に関わらず女性労働者が現場で能力を発揮できると期待している。

同社社員の女性技術者は、日本道路建設業協会の「なでしこエンジニアの会(情報化施工技術に関する勉強会や、女性が働きやすい環境づくりへの取組を行うワーキンググループ)」に参加しており、現場監督の経験を活かし、女性の技術向上に貢献している。



管理本部  
人事部  
課長 有村康司さん

◆ 女性労働者

職務内容	総務部で勤怠管理や請求書処理など事務全般を担当。職場復帰後は海外事業部にて、事務業務を行う。
雇用形態	妊娠前・妊娠中・出産後いずれも正社員
労働時間 ※末子妊娠時	妊娠前 8:30~17:30 妊娠中 8:30~17:30 出産後 9:30~16:30(短時間勤務制度利用)
お子さんの年齢	1歳6か月(ヒアリング当時)
休業期間	産前:6週間 産後:14か月(夫:1か月)

妊娠中の職場からのサポート

勤務時間内に妊婦健診へ「いってらっしゃい」と笑顔で見送り

妊娠が判明し、安定期に入ってから直属の上司に報告した。その後、上司から妊娠したこと、配慮するよう職場に伝えてもらい、周囲から祝福された。デスクワークのため、体力的につらいことはなかったものの、後輩が重い郵便物を持ってくれるなど、妊婦に対するさりげない配慮があった。妊婦健診に行く際は、日程を事前に口頭で伝えておき、勤務時間内に通院した。「いってらっしゃい」と笑顔で送り出してもらえ、安心して病院へ向かうことができた。上司や同僚の理解と協力を得られた中、自分自身もいつも以上にミスをしないよう心がけたり、引継ぎ書類を入念に作成し、休業に備えた。

社内制度について、人事部課長(女性)から分かりやすく説明を受け、親身に話を聞いてもらい、心強かった。

妊娠中・出産後の家族の理解や家事・育児の分担

夫も1か月の育児休業を取得

子どもが2か月の時、他社で働く夫は「子どもと一緒にいたい」と考え、1か月間の育児休業を取得した。社内で男性の育児休業取得第一号となった夫は、育休後も早めに帰宅し、沐浴やおむつ交換を担当した。

「妊娠や出産をしても働き続けるためには、絶対に夫の協力が必要。妻に働き続けてほしい男性は、家事や育児の負担が増えることを理解してほしい」と、夫と育児や家事を分担することの必要性を感じている。

妊娠・出産を経て働き続けることについて

短時間勤務制度を利用しながら、育児と仕事を両立

妊娠を報告するとき、復職後は部署異動があるのか、どこに配属されるのか不安があったものの、復職後に配属された部署は育児に対して理解があり、現在、子どもの保育園送迎のために短時間勤務制度を利用しており、育児と仕事を両立させている。

会社概要

日本道路株式会社

所在地：東京都港区新橋1-6-5

業種：土木工事業ほか

規模：従業員数2,070人(うち女性339人)

※平成29年4月現在 契約社員・パート含む

- 妊娠・出産による退職者割合:0%
- 育児休業取得者割合  
(女性):100% (男性):0%